

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

今井まさる県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

強い我孫子！ わが街我孫子！ 造ります

12月県議会一般質問で県の取り組みや方針を質問する今井勝県議



我孫子市特集

12月県議会一般質問

我孫子市民の期待を担つて、今井勝(いまい・まさる)県議は県議会での活動を通じて、より良き千葉県、我孫子市の実現に全力を上げています。教育改革に情熱を燃やしている今井議員は十二月議会で登壇し、障害を持つ児童・生徒のためのサポート体制や不登校改善への取り組みを県に質問しました。また、中小企業の知的財産権の問題を取り上げ、知事から「中小企業の成長力を高めていきたい」との答弁を引き出しました。今井県議の主な質疑を特集します。

今井県議 小・中学校にお

いて障害のある児童・生徒に対し、日常生活上の介助を行なつたり、学習活動上の援助を行なつたりする特別支援教育支援員の配置と活用が、障害に応じた適切な教育を進めうえで、一層重要な役割を果たしている。

そこでうかがうが、特別支援員のこれまでの配置状況はどうか。また、支援員充実のために県はどのように取り組んでいるのか。

教育長 特別支援教育支援員は、各市町村が学校の実情に応じて配置しています。国が平成十九年度から地方財政措置をしたこともあり、配置が進み、平成二十一年度には一千三百十六人となっていきます。県としては支援員を配置することは、障害のある児童生徒の学校生活を支援するうえで、極めて重要であると認識

しており、今後とも各市町村に対して、必要とされる支援員の配置を促すとともに、国に対しては全国都道府県教育委員長協議会や教育長協議会を通じて財政措置の拡充を要望しているところです。

今井県議 平成二十一年度から、特別支援アドバイザーが公立の幼稚園、小学校及び中学校、高等学校を巡回し、障害のある児童、児童及び生徒への教育支援のあり方などをについて助言・援助を行なうようになつた。その支援アドバイザーの派遣状況はどう

か。また、特別支援アドバイザー事業をどのように充実させていくのか。

教育長 今年度から十九人を教育事務所に配置しました。十一月一日現在、一週間以上の長期派遣二百二十三件、一日の短期派遣百五十四件を行なつたところです。今後とも、それぞれの専門

性を生かすことにより、様々な障害のある子一人ひとりに応じたきめ細かな指導が実践されるよう、本事業の充実に努めています。

今井県議 保護が必要な児童の一時保護について、現在どのような体制がとられているのか。

健康福祉部長 虐待や放任などにより保護が必要な児童については、県内五カ所の児童相談所に設置した一時保護所において一時保護を行なつております。今後は、東上総児童相談所に一時保護所を新

設し、体制の強化を図ります。

今井県議 一時保護の児童がまだ増加する感が強くなっています。保護を必要とする児童や、障害児を受け入れられる施設の増強を早急に取り組まなければならぬと考えるが。

健康福祉部長 児童虐待の相談が増加の一途と言いますか、非常に残念な状況がござります。体制、施設などの増強に引き続き努力してまいりたい。

今井県議 医療ケアが必要な重度の障害児入所施設が不足していると聞いていますが、施設を増やす計画はあるか。

健康福祉部長 重症心身障害児施設は人口密集地の東葛地域において強く求められているところから、整備に向けて努力していきたいと考えています。

今井まさる・PROFILE

□略歴□

- 昭和23年 1月 我孫子市生まれ。湖北小、湖北中、柏日本高卒
- 昭和41年 4月 千葉日産入社→退社
- 昭和43年 4月 今井タクシー入社→会長
- 平成11年11月 我孫子市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成17年 4月 総務企画常任委員長
- 県議会議員補選337票差で次点
- 平成19年 4月 県議会議員初当選

□現職□

- 県議会 県土整備常任委員長
- 自民党県連 組織本部委員
- 農業土地改良議員連盟／医療問題議員研究会／幼児教育研究議員連盟／調理師議員連盟／農政問題研究議員連盟／建設問題研究議員連盟／靖国神社・護国神社を参拝する自民党千葉県議会議員の会／観光立県推進議員連盟／私学振興議員連盟／防衛問題対策議員連盟／商工議員連盟／介護問題対策議員連盟／千葉県議会教育研究会

県政や我孫子の
ご相談・ご意見を
聞かせてください

今井まさる 県議 TEL.04-7181-7181
事務所 FAX.04-7181-7187

HPもご覧下さい。… 検索 ちば自民党 → 県議会議員 → 我孫子市

我孫子市特集 12月県議会一般質問

命を大切にする 教育環境づくり

今井まさる

県議

我孫子市特集 12月県議会一般質問

20年度 県内

5000人超える不登校児童生徒



県議会議場の自席で再質問する今井勝県議

今井県議 不登校の小、中学生の現状は憂うべきものがあり、文部科学省の統計によると、平成二十年度は全国で十二万六千人を超えていました。不登校を改善するためには学校を支援する人的パワーを増やすこと

も大切。小学校への派遣を含め、スクールカウンセラーの増員や勤務時間など、配置体制の充実に努めるべきと思うが。

ることで、子どもの抱える課題を早期に発見し、適切に対応できるよう努めています。

今後、どのように不登校対
策が進められてきた。平成
貴重種

県議 略にとって極めて重要であると認識しています。

今井県議 県は中小企業の知的財産権に関する支援にどう取り組んでいるのか。また、中小企業に対するデザイン支援にどう取り組んでいるのか。

増強を要望

抱える様々な課題の対応など、教育相談の充実を図るために、欠かせないものと考えます。

極的に活用して、県内のスクールカウンセラーの配置体制の充実を図つてまいります。

策に取り組んでいくのか。
教育長 本県における平成二十年度の不登校児童生徒数は、いまだに五千人を超えており、依然として憂

トセントラルの電話や面による相談を行なうとともに、教員が不登校児童生徒に対しきめ細かな対応ができるようにカウンセリング

た、デザインも単なる色や形の表現ではなく、製品の機能性の向上に大きく関わるとともに、購入者が製品を選択する際の大きな動機

県、カウンセラー充実を約束

物の生息が確認されました。
現時点では植物が密生し、
繁茂するというところまで
は至っていませんが、調査に
より、貴重種を含む多くの
植物の生息が確認されてい
るところから、植生帶整備
には、一定の効果が発現さ

れているものと見えます。
今井県議 中小企業の知的財産権やデザインに関する支援を行っていくことは、中小企業の振興に大いに意義のあることだと思う。これについて県はどうに考

えて いるのか。
知事 新しい技術やア
ニアに基づき新製品を開
発し、それらを他の製品と
別化していくことは、中
企業の競争力の強化に欠
すことができません。

活用塾^イを開催するなどしています。今後も、企業ニーズを把握しながら、知的財産権やデザインに関する支援を進め、県内中小企業の成長力を高めていきたいと考えています。

手賀沼の植生帯整備



八四國地有孚惠心勿

「千葉県知的所持権セントラル」を設置し、知的財産全般に関する相談の実施などをを行なっています。さらに、関係機関と連携し、専門家を派遣することにより中小企業の知的財産権の課題解決を支援する事業などにも取り組んでいます。

デザイン力の強化については、「しば・我名的デザイン」

その際開発された製品や技術を、特許などの知的財産権として適切に保護活用していくことは、類似品を排除し、自社に有利な事業展開を可能にする手段として非常に有効です。ま

○特別支援教育支援員、特別支援アドバイザーの人数の確保をしつかりやつていただきたい。
○効率的なスクールカウンセラーの配置をお願いしたい。